

シンポジウム 2

「新型コロナウイルス感染拡大禍におけるカプセル内視鏡検査の役割」

司会 塩谷 昭子（川崎医科大学消化管内科）

福田 眞作（弘前大学）

内視鏡学会の提言では、消化管出血例あるいは疑い例に対しては、新型コロナウイルス緊急事態宣言下でも内視鏡診療は適応とされ、非宣言状況下では、通常内視鏡診療は適切なトリアージと確実な感染防護策の実施下で施行することが可能とされている。カプセル内視鏡は、エアロゾルの発生がなく鎮静の必要がないことからその有用性が報告されている。昨今の With コロナの状況下におけるカプセル内視鏡検査の役割に関する演題を広く公募する。